

令和元年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 1年生

	各教科の課題	具体的な授業改善策	改善の評価
国語	○ひらがな・かたかなの習得	○基礎学習時間の確保を図る授業等の工夫 ・スキルタイムや家庭学習での継続を促す。 ・音読練習等、家庭との連携をする。 ・活用場面を国語科以外でも設定し、基礎基本の定着を図る。	○ノートの記述量が増加した。 ○生活科との連携した学びができた。 △かたかな、漢字、文章力の個人差がある。
算数	○加法・減法の意味理解	○言語の視覚化 ・合併、増加、求残、求差の言語を視覚化し、文章問題において立式の根拠をもてるようにする。 ・児童の習熟の度合に応じて演習量・難易度を選択できるようにする。	○自分の考えをノートに書くなど、記述量が増えた。 △より正確な計算力、考える力に個人差がある。
生活	○知識・技能の基礎の定着	○他教科との連携 ・国語科で学習したことを活用する経験を意図的に設定する。モデルとなる言語表現を選択したり、自ら考えたりして表現する。 ・気づきを大切にしたい体験活動の充実。 ・世話を続けることだけでなく、記録し続けることで、変化の違いに気付けるようにする。	○植物の観察、生き物の観察、飼育活動を継続する。 △記録の継続を通して、変化の違いに気付くには個人差がある。
音楽	○表現技能の向上	○音楽の楽しさを味わいながら歌唱、器楽等の基礎・基本を身に付けさせる授業の工夫 ・リズム遊びやわらべうたを通じて、リズムや拍等、基礎・基本の定着を図る。 ・友達との学び合いの中で表現活動の楽しさを味わわせる。	○リズム遊びやわらべうたを通して、音楽の基礎を身に付け全身で表現できる児童が増えた。 △鍵盤ハーモニカのタンギングなどの個人差が有る。
図工	○創造的な技能の向上	○様々な材料や用具の使い方を身に付ける授業の工夫 ・安全面の指導を必ず行う。 ・様々な材料や用具に使える活動を充実させる。 ・身に付けた技能を繰り返し使える機会を増やし、定着を図る。	○基本的な技能を身に付けることができている。 △発想面で苦手な児童が数名いる。
体育	○学習の規律 基礎基本	○基本的な動きを身に付ける授業の工夫 ・服装の確認をする。 ・集団行動（前へならえ、やすめ、気をつけ、体操の隊形、体育座り、回れ右等）を取り入れる。 ・いろいろな運動に触れて多様な運動遊びを行う。	○基本的な動きを身に付けることができた。（服装、体操、隊形） △集団行動での協調性、時間の意識、優しい言葉がけに個人差がある。